



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



2011-2012 年度

国際ロータリー会長 / カルヤン・パネルジー
2690地区ガバナー / 伊藤 文利

会長 / 飯塚 詔夫 副会長 / 黒田 昌弘
幹事 / 堀江 卓男 会計 / 横野 良文

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
6月14日	自衛隊島根地方協力本部長 一等陸佐 藤木隆志 様	朝鮮半島情勢について
6月21日	会長 飯塚詔夫	一年を振り返って
6月28日	休 会	
7月5日	次年度会長 黒田昌弘	新年度会長方針

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
37	29	8(2)	82.86%	94.12 %

■欠席者

小村 / 園山 / 河原 / 来間 / 堀江 / 木村(山根 / 牧野)

■来訪者

竹内(出雲南)

■メイクアップ

なし

■次回例会受付当番

(7月5日) 原 泰久 / 恒松克己 / 内田節夫

(7月12日) 木村文彦 / 山根章一 / 福田磨寿穂

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えよう)

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央	6/25	松江南
火	出雲	6/26	松江しんじ湖 6/19 6/26(休)
水	大社	6/20 6/27(休)	松江 6/20 6/27(休)
木			松江東 6/21 6/28(休)
金	出雲南	6/22 6/29(休)	

■会長挨拶

太古版とは、戦国時代 武田信玄の甲斐国(山梨県)で流通していた地域通貨、通常甲州金といわれるものです。国指定の史跡「甲州金山遺跡」の1つに静岡と山梨の県境にまたがる毛無山という所に大規模な鉱山遺跡があり、露天掘りして精錬までしていた跡があります。武田氏は領内で産出する金を使って貨幣制度を作りました。金1両 = 4分 = 16朱 = 64 糸目という4進法の貨幣単位を採用して、この甲斐の国だけではなく、関東一円で一番信用ある貨幣として広く使われていたようです。その内の1分金が太鼓判との事です。太鼓のような大判小判と思いましたが、直径1.5cm、五三桐紋と「壹分」という文字が印刷され、周りを太鼓の皮を留める鋳のような装飾がされ、このデザインが太鼓判と呼ばれる由縁です。するという意味の言葉として使われる様になったようです。「太鼓判」は、本来の価値がある事を保証するという意味の言葉として使われる様になったようです。

■幹事報告

- 伊藤ガバナー、地区青少年交換委員長 西谷様より
6/2(土)開催の地区青少年交換委員会引継ぎ会出席のお礼状を頂きました。



■スマイル

- 竹内(出雲南) (今年度2回目です。よろしくお願い致します。)
大島治 (藤木一等陸佐、今日はスピーチありがとうございます。)
杉原邦 (ガバナー月信に掲載されて。)
田中久 (ガバナー月信に杉原会員のプロフィール、私の拙文が載って。文章が古くてすみません。)
恒松 (竹内様ようこそいらっしゃいました。杉原邦彦様、月信掲載おめでとうございます。)
黒田 (釜屋副幹事の初幹事報告です。早くなれて下さい。)

■スピーチ・例会行事

~ 北朝鮮情勢 ~

自衛隊島根地方協力本部長 一等陸佐 藤木隆志氏



- 北朝鮮の概要
(1)安全保障環境 (2)外交体制 (3)国内統治、権力継承
(4)政治制度 (5)食料・エネルギー等の状況
- 国防体制
(1)国防機構 (2)北朝鮮軍の配置、各軍種の状況
- 核開発・弾道ミサイル問題
(1)核実験の状況 (2)核実験をめぐる協議 (3)弾道ミサイル発射事案(1993年~2012年) (4)弾道ミサイル拡散状況
- 近年の重大事案
(1)韓国海軍哨戒艦「天安」沈没事件
(2)延坪(ヨンピョン)島砲撃事件
- 今後の動向

北朝鮮の最大の望みは、米国による現体制の保証である。権力継承は、金日成死去後、順次継承している。引き続き専制政治を行う。喪が短いのは、政治空白を招かないため。親子二代で盤石体制があるから。党が軍や政府を指導する。親の威徳を汚す、親と比べられる、ゆえに異なる役職(称号)を得ている。
食糧不足は慢性的に深刻。エネルギー事情も悪い。軍事設備も老朽化。ミサイル100万の内60万以上が南北境界線に位置している。海軍の艦艇は古いものばかり。戦闘機は、ミグ29(35機)、他には旧型ばかり。特殊部隊は20万(世界一)、工作機関が発達している。まともに戦闘すると、日本の自衛隊の敵ではない。但し、隠密裏に責めてこられるのが怖い。核開発50年の歴史を持つ。失敗しても成功したという。脅しながら時には歩み寄って、経済支援を引き出すのが狙いである。
緊迫の北朝鮮情勢は、今後さらに注視して行かなければならない。